

会 議 録

内容承認 武田委員長 宮内委員	公開・非公開 の別	<開催日>令和元年9月24日(火) <時間>14:00~17:15 <場所>岸和田市役所 別館2階 上下水道局会議室	<傍聴人数> 1名 <傍聴室> 岸和田市役所別館2階 上下水道局会議室
承認	公開		

<名称> 令和元年度第2回 岸和田市上下水道事業運営審議会

<出席者>

◇岸和田市上下水道事業運営審議会委員 (○は出席、■は欠席)

武田	浦山	宮内	大屋	片淵
○	○	○	○	○

◇上下水道局出席者

森下上下水道局長、赤坂次長兼下水道整備課長、深井料金課長、
高橋上水道工務課長、深井浄水課長、和田下水道施設課長、各課担当者

◇事務局

山中企画担当長、高木主査

<議題>

案件

- (1) 「岸和田市水道事業ビジョン (試案)」について
- (2) 「岸和田市上水道事業中長期計画 (試案)」について
- (3) 「岸和田市水道事業経営戦略 (試案)」について
- (4) その他

<会議内容>

案件 (1) 「岸和田市水道事業ビジョン (試案)」について

担当者より、「岸和田市水道事業ビジョン (試案)」について説明後、以下の意見・質疑があった。

*主な意見と局の考え

P3 水道事業ビジョンの位置づけについて

- ・委員 水道事業ビジョンの中に実施計画が含まれているが、それを外してビジョンとし、実施計画と中長期計画の整備計画を1つの計画としてまとめる方が理解しやすい。
- ・委員 3つの計画を読むと、重複している部分があり、其々の役割が理解しにくい。
- ・委員 経営戦略は総務省の指導に従って策定しており、行政側としても構成内容については従わざるを得ない面がある。水道事業ビジョンと中長期計画については、かなり重複が見受けられるので、整理が必要。水道事業ビジョンには10年間の目標が出ているが、ビジョンではもう少し長期の将来像を示す方がよいのではないか。水道事業ビジョンと中長期計画は合わせてひとつのものにすることも考えられる。また、今のように水道事業ビジョンと中長期計画を分けるなら、中長期計画は10年間の実施計画としてまとめる方がわかりやすいのではないか。
- ・副委員長 3つとも必要と考える。基本理念が大事であり、その発展形が記載できないのが、少し懸念されるが、本当に必要なものは欠けていないと考える。

【局の考え】

水道事業ビジョンは、理想とする将来像とその実現方策を示した水道事業全体の基本計画としてまとめたものである。また、中長期計画は、ビジョンを踏まえて中長期的な視点から施設整備の方針をまとめたもの、経営戦略は、中長期計画の施設整備の方針を財政面から実現性を検証した上で、経営の方針をまとめたものである。よって3つの計画は、重複する部分があるが、他の計画の範囲についても説明を記載する。

P7 基本理念の見直し

- ・委員 「縮充」だけが前面に出てくると、単にコストを抑えればよい、と捉えられないかを懸念する。アンケートでの満足度が高いという説明のあった「安全で良質な水を供給している」ということが、市民にとっては大切。たとえば「安全安心を確保し」という言葉を基本理念に盛り込んでどうか。
- ・委員 「縮充」は広辞苑に記載されておらず、シクジュウといえば「縮絨」である。流行の言葉を用いること、一般化していない言葉を行政が使用することに抵抗がある。岸和田市が「縮充」をキャッチフレーズとして事業展開をしていきたいという想いがあるのであれば、「縮充」を使用した上で、広辞苑に記載されている本来の「縮絨」、それが転じた「縮充」=小さくなるのだが、中身は充実しました、という想いを伝える工夫をしないと、一般市民には伝わらないと思う。

【局の考え】

「縮充」を基本理念とした想いを追記する。

P34・35 経営に関する数値について

- ・委員長 類似団体の数値を含めた経営比較分析をしているが、経常収支比率や流動比率などが経営戦略（P11・12）にある類似団体の数値と異なる。抽出している類似団体が違うということならば、誤解を招かぬよう、その旨を記載すべき。
また、経営分析は公表もしているので、その数値に合わせる方がよい。
- ・委員 説明したい内容に変わりがなく、経営に関しそれぞれの分析値がよく似ているが違うということならば、統一させる方がよい。

【局の考え】

抽出している類似団体が異なるが、ビジョンと経営戦略の分析に対する表現は統一する。
また、経営戦略において、ビジョンと類似団体が異なる旨を記載する。

P37 更新費用の見直し

- ・委員 図：更新基準年数での更新費用の推移について、2019-2023の緑色の部分はすでに更新基準年数以上であり、一度に更新できないので後ろに回すとなっているが、各5年間でこの緑の部分のどのくらい残っているかが読み取れないので違和感がある。中長期計画のP17、23、25にある同様の図についても、再考してほしい。
※図中の赤の実線と点線の意味も含めて、図の見方について全体的なコメントを付けるのがよいと思います。

【局の考え】

アセットマネジメントがどのようなものかイメージできる図に変更する。

P43 水道料金について

- ・委員 料金改定の議論の際、料金水準についても他都市との相对比较が求められるので、記載してはどうか。

【局の考え】

府内各市の水道料金が比較できる図を作成し、資料として掲載する。

P47・48・51 体系の見直し

- ・委員長 P47 強韌の 1 項目め「水源の二元化を継続するため、自己水源の適正な保全の必要があります」が、P51 では「1-1 適切な水質管理」に関する取り組みとなっており、安全に分類されている。整合性を考えると、P47 の分類を訂正すべき。

また P47 持続の 6 項目め「水需要の減少に対応するため、水道施設規模の最適化を考慮した更新整備を進める必要があります」については、P51 では、「7-1 安定した経営の継続」に分類されているが、P44 経営の課題には含まれていない。構成としては、「7-1 安定した経営の継続」ではなく、「4 健全な施設の保持」に分類の方が適切と考える。なお、「4 健全な施設の保持」の細分類は、「4-1 老朽化した施設の適正な維持管理・更新」のみであるため、新たに「4-2 施設規模の最適化を考慮した更新整備」を追加すべき。

P48 将来構想のまとめ

- ・副委員長 基本となる資本、資源がない中、今後どのようにしていくのか、縮めていく手順等も示しながら、ライフラインを適切に維持していく、ということを伝えることが重要。課題の整理を踏まえて、インフラ維持につながる 7 つの目標を説明してはどうか。

P52 専門用語の解説

- ・委員 料金回収率や料金収納率など、専門用語が出てくるが、市民にはわかりにくいのでは。欄外に注意書きを記載してほしい。

P52 目標値の説明

- ・委員 事業計画における数値目標は、行政の政策目標なのか、現行業務のトレンドなのかがわからない。政策目標なら大まかな数値となるが、P63 などを見れば、小数点以下もあり、細かいと感じた。また P68（配水量 1 m³当たり電力消費量）のように同じ数値なら、目標となっていない。放置した場合にどうなるのか、そのような頑張りが見えない。

P53 残留塩素濃度の管理体制の強化

- ・委員 装置としては、次亜塩素酸を発生させて遊離残留塩素を水道水中に追加するものになるが、ここだけ見ても理解できるように、仕組みを説明する添え書きをいれてはどうか。

【局の考え】

P18 の注釈での記載に加え、P53 本文を一部変更する。

P57・58・59 取り組み成果を理解できるビジュアル化

- ・委員 現況と 10 年間の取り組み後の姿を対比できる図を記載する等、10 年間の取り組み成果がわかるように工夫されたい。重要給水施設への給水ルートの耐震化については、パイプ（管路）についての色分けは図上では細かくなり記載は難しいと思うので、図上に重要給水施設の位置を示し、58 ページにある計画期間内に耐震化される配水区域を色分けする等してはどうか。

P60 危機管理装備の充実

- ・委員 災害発生時には応援が来るまでの間は、自前での対応を用意しておく必要がある。備蓄資材の整備についての考え方を整理し、資材品目、数量、収納場所等についての目安を記載してはどうか。

P70 民間活用の検討

- ・委員 水道事業以外のごみ処理等の分野では、公共の民間委託が進んでいる。良質なサービス提供、安定した経営のために、民間活力を活用するなど、様々な検討も、踏み込んで記載されたい。

【局の考え】

個別具体的な検討は今後の課題であり、今回の計画においては、P70 の内容にとどめる。

P70 広域化の検討

- ・委員 統合すれば、分散状態では不可能であった大きな投資が出来るようになる。また広域化の検討の中には、色々な連携の考え方もあると思う。広域化について、何のメリットがあるのかを示すべき。

【局の考え】

方向性については前回審議会にて説明のとおり。記載については P70 の内容にとどめる。

P71 水道料金水準の適正化

- ・委員長 水道料金改定の方向に向かうのはやむを得ないことであると、しっかり市民に説明・PR するべきである。これまでの努力を含め、しっかり強調しておくことが必要。水道事業ビジョンの中では、P71 に少し記載がある程度で、料金改定の時期や、値上げ率等は記載されていない。市民に料金改定に関する関連事項を明確に打ち出すのも必要ではないか。3つ同時に公表するのであれば、水道事業ビジョンには料金改定に関して記載がない、と騙すような形にならないよう検討すべき。
- ・委員 経営戦略のパターン①でもこの10年以内に料金改定の話が出てくるのに対し、水道事業ビジョンでは38ページで令和6年以降赤字になるという記載にとどまっている。それでは経営が大丈夫なのかと懸念される。P71 水道料金水準の適正化のところ、もう少し丁寧にコメントを入れてはどうか。

P71 経営努力の説明充実

- ・委員 市民目線、企業経営の感覚からすると、料金を上げてもらっては困るというのが本音である。値上げは仕方ないという指標が出ているが、料金値上げの前に経費削減、収益の確保に取り組むことが大事。難しいことかもしれないが、認可範囲内で資産活用を推進する。また工業用水や阪南2区は大口が少ない状況を鑑みれば、大口利用が見込める水道関連企業を誘致する等、まちづくり施策を含めて検討すべき。

P76 推進体制イメージを高める工夫

- ・委員 ワーキンググループ設置とあり、良いことだと思うが、実際どういうチームがあり、どのようなことをしているのか、具体的な内容を記載すべき。

P76 進行管理について

- ・委員長 毎年の見直しの際には無理だとしても、第三者評価を実施するなどの、客観性を高めるための方策を検討されたい。

【局の考え】

今後の検討課題とする。

P83・84 配水の見える化

- ・委員 配水区域図だけを見れば、どこからどこへ水が流れているのかわからないため、配水池間の水の流れを示す矢印をいれたりすると、配水区域間の関係が理解しやすいのではないか。また、企業団水、自己水が混合され配水されている箇所等、水源の表示があれば、事故などの場合の影響部分も把握しやすいのではないか。

案件（２）「岸和田市上水道事業中長期計画（試案）」について

担当者より、「岸和田市上水道事業中長期計画（試案）」について説明後、以下の意見・質疑があった。

*主な意見と局の考え

P17 更新費用の見直し

- ・委員 水道事業ビジョンでも同様であるが、アセットを実施する中で、更新基準年数を算出しているが、その根拠を示すべき。

【局の考え】

ビジョン P36 での記載のとおり、中長期計画についても更新基準年数の算出根拠について説明を追記する。

P18 浄水場の将来像の検討結果

- ・委員長 表 6-1 について、持続の項目において、存続の場合も廃止の場合も「○」が入っているが、これはどういう基準なのか。比較論とするならば、どちらも「－」の記載でよいのではないか。

P17・23・25 更新費用関連の図

- ・委員長 水道事業ビジョン同様、わかりやすい提示ができるよう再考してほしい。

【局の考え】

図を再考する。

P25・26 計画期間の整合

- ・委員長 事業計画は 10 年間、財政収支を 20 年間としているが、事業計画があって財政計画を立案すると思うので、事業計画についても 20 年間示すべき。

【局の考え】

事業計画の10年と異なり、財政収支が20年間となる旨、またその場合の事業計画をどのような考え方で20年間の投資費用として表しているのかについて、説明を追記する。

案件（3）「岸和田市水道事業経営戦略（試案）」について

担当者より、（3）「岸和田市水道事業経営戦略（試案）」について説明後、以下の意見・質疑があった。

*主な意見と局の考え

総論

- ・委員 3つの計画は本来一体ものとする。実施計画を定めた、それに伴う費用を明らかにした、実施するためには、資金ショートするので料金改定も選択肢のひとつ、平準化もする。収支も大事だが、耐震化もきちんと行う、そのためには資金ショートを起こさぬよう料金改定も必要だが、まずはダウンサイジング等の費用低減や平準化等、出来ることに取り組む、このようなことが戦略ではないのか。現状では経営戦略とはいうものの、単に収支だけを捉えている内容となっており、岸和田市としての水道事業の戦略が読み取れない。

料金

- ・委員長 P8の料金について、大阪府内の水道料金の比較など、記述を充実してはどうか。

投資・財政計画（収支計画）

- ・委員長 P23にあるのが、ダウンサイジング前の図となっているので、ダウンサイジング後のものをP26あたりで再度図などを使い、示す方がよいと思う。

議題（4）その他

- ・特に意見はなし。

以上

■次回審議会の予定

令和2年1月23日（木）午前10時（予定）～
岸和田市役所別館2階 上下水道局会議室